

【若狭町】事業計画書

(令和4年度嶺南スマートエリア推進補助金活用事業)

<事業の目的>

都市機能が集積するJR駅近郊エリアにおいて、エリア内に点在する空き地・空き家を分譲地等として再整備するとともに、再エネ設備やIoTを活用するなどエリアの魅力を上げることで、定住人口の確保、行政・自治機能の維持など、人口減少の中でも持続可能なまちづくりを進める。

<事業の内容>

事業概要	事業実施による効果およびKPI	事業期間・経費（補助金充当額）
<p>(1) 事業期間全体における事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア内にある空き地を整理し、スマートハウス（太陽光発電装置および蓄電池、HEMSなどを搭載した住宅）を建築条件とした分譲地を造成する。 ・エリアの魅力を上げるために、公共施設等にIoTを取り入れる。 (再エネ設備やIoTの詳細については構想を策定する中で決定する) <p>(2) 令和4年度の補助金を活用して実施する内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構想策定 <p>※事業の実施体制（民間事業者や地元住民等との連携方策）を具体的に記載すること</p>	<p>(1) 事業実施による効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き地、空き家の解消 ・移住定住が促進され、集落の維持が可能 <p>(2) KPI（評価指標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再エネ設備やIoTを活用したスマートエリア 1か所 ・スマートタウンのモデル地区1か所 	<p>(1) 事業期間（全体） 令和4年6月～令和7年3月</p> <p>(2) 事業に要する経費 総事業費（概算） 246,300千円（100,000千円）</p> <p>①令和4年度 19,680千円（2,840千円） （明細） 構想策定 5,680千円（2,840千円） 測量・地質調査等 14,000千円</p> <p>②令和5年度 65,650千円 用地買収・実施設計</p> <p>③令和6年度 160,970千円 分譲地造成、IoT設備整備</p>

